

ともあい

2024年度 第1号

☆地域支援による取り組みについて☆

和泉支援学校では、支援教育地域支援整備事業に基づいて訪問／来校相談や研修講師等を行っています。地域連携だより「ともあい」では、地域連携部としての活動（訪問相談や交流及び共同学習等）や本校での取り組みについて地域へ情報発信をしています。

第1号では、夏休みに本校で行われた公開研修会について、教材紹介として昨年度の小学部に引き続き、今回は中学部の教材を紹介します。また、今年度の交流及び共同学習の予定についても掲載しています。交流及び共同学習の目的は、同世代の児童生徒を中心に、様々な人との関わり合いや学び合いを通して、互いを尊重し合う豊かな人間性を育むと共に、地域で「ともに学び、ともに育つ」関係を作ること、それぞれが個性や特性を活かして、社会の中で自分らしく主体的に生きる力を育むことです。年に1回程度の場合もありますが、その1回を貴重な機会とし、積み上げていくことで目的の達成につながると考えています。

【公開研修会】

- テーマ:ポジティブ行動支援による学級づくり 一問題行動を予防し、子どもたちの主体性を育てる学級へー
- 講師:近畿大学総合学部 准教授 大対香奈子先生

上記の内容で7月31日に行われた研修には、地域の小・中・高校より46名の参加がありました。内容としては、基本的な行動のメカニズムやポジティブ行動支援の基本的な考え方、具体的な手立てについてなどでした。行動を直前の出来事(A)→行動(B)→結果(C)のABC分析から考えること、行動が起こりやすいためにはメリットがあること、そのメリ

ットは何かを考えていくことが大切であること、その人がコントロールできないからといった個人攻撃の罠に陥らないことなどを知ることができました。適切な行動を引き出しやすくするための環境調整の大切さ、行動を強化するための手立てなども教えていただき

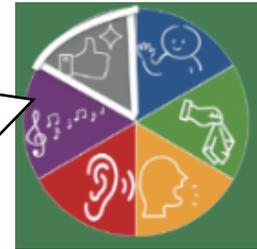


した。また、ワークとして褒め上手になる練習から意識的に褒めるポイントを見つける大切さ・褒められることの嬉しさなども体験できました。「増やしたい行動の直後に褒める」「何を褒められているのか分かるように具体的に褒める」など効果的に「褒める」ポイントも教えていただきました。2学期からのクラス運営や児童生徒への対応に活用しやすい具体的な内容を学ぶことができたと感じています。

☆中学部の教材紹介☆

音楽

流れを視覚的に示し、現在の取り組みを太枠で囲み、わかりやすく。

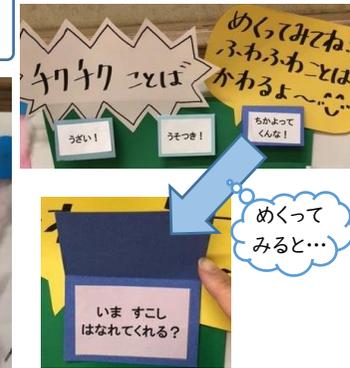


授業の中で学んだ4分音符を探します。鑑賞で聞いた曲の作曲者のイラストなども用いることで、学んだことを自然と振り返れます。



4分音符を見つけよう

ふわふわことばとチクチクことば



チクチクことばをふわふわ言葉に言い換える練習をしました。朝や帰りの会で確認したり、チクチクことばがあった時に指摘して言い換えるようにしています。次第に、生徒たちが言葉を自覚できるようになりました。

【各学部の交流及び共同学習の予定】

- 小学部：・池上小学校（交流および共同学習・学年によって和泉支援学校や池上小学校を会場として取り組み、6学年で実施予定）
・各校居住地校交流 ・3市1町支援学級（あすなろ交流会）
- 中学部：・富秋中学校（交流及び共同学習・3学年で実施し、学年全体や学年代表が和泉支援に来校するなどの形で、3学年で実施予定）
・和泉中学校（授業交流） ・各校居住地校交流
- 高等部：・登美丘高等学校（主に吹奏楽部との演奏を通じた交流）
・伯太高等学校（主にクラブ活動交流、生徒会交流）

※実施内容について、「ともあい」第2号にて今年度中に掲載予定です。交流及び共同学習には「交流活動」と「共同学習」の側面があります。